



《報道発表》

あそびが暮らしの中でより身近な存在へ
UR 賃貸住宅のあそび場を初プロデュース
 東京都港区「シーリアお台場三番街」へキッズルームを3月導入

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、独立行政法人都市再生機構（以下、UR 都市機構、本社：神奈川県横浜市、理事長：上西郁夫）が管理を行う、東京都港区のUR 賃貸住宅「シーリアお台場三番街」内に、未就学児童を対象とした室内あそび場をプロデュースします。ボーネルンドによるUR 住宅施設へのあそび場作りは、初めての事例です。

「シーリアお台場三番街」へ3月に導入するあそび場は、同住宅にお住まいの0歳～6歳の未就学児と保護者を対象とした、年間1,000円(税込)の利用料で遊べるキッズルームです。約30㎡のあそび場中央部には、ハイハイで上り下りをしたり段差に腰掛けて本を読んだり、子どもも大人も思い思いに過ごせる「ウレタン山」を設置。体育先進国のデンマークで誕生した、ゆらゆら揺れてバランス力を養う運動遊具「フォーム・アニマルズ」シリーズや、ごっこあそびを体験できる木製の「キッチンコーナー」があり、乳幼児から未就学児があそびを楽しみ、親子や子ども・親同士のコミュニケーションを育む空間を提供します。



「ウレタン山」イメージ



「フォーム・アニマルズ」シリーズ



「キッチンコーナー」イメージ

近年、港区は子育て支援の充実化にともない、ファミリー世帯人口が増加傾向にあるものの、地域のあそび環境は充分とは言えない状況です。今回のあそび場は、地域課題を改善し、ファミリー層の入居率上昇を目指すUR 都市機構が、「子どもの健やかな成長にあそびは不可欠であり、室内で天候に左右されずに親子が遊べる環境を提供したい」というボーネルンドの思いに共感いただいたことから誕生に至りました。年間243万人以上が訪れる全国の親子に人気の室内あそび場「キドキド」を運営し、公園や教育施設をはじめ、ホテル、車のショールーム、百貨店など、全国3万5,000箇所に多様なあそび場を開発してきたボーネルンドのノウハウを活かしたあそび空間をプロデュースします。今後も当社はUR 都市機構と連携を図り、子どもの生活シーンのあらゆる場所へのあそび場提供を通して、都市・地方再生の取り組みに携わってまいります。

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国86カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間243万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国32箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》

株式会社ボーネルンド 広報室
 担 当：田中、村上
 T E L：03-5785-0860 / 080-5901-3591
 E-mail：yuka-tanaka@bornelund.co.jp

株式会社プラップジャパン
 担 当：五味淵、古澤、山口
 T E L：03-4580-9104
 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp

《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》

株式会社ボーネルンド TEL：0120-358-518